



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠

TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	99,396	0.5	345	5.4	435	1.9	541	83.7
30年3月期第3四半期	99,944	0.3	327	15.0	427	10.6	294	21.2

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 301百万円 (41.3%) 30年3月期第3四半期 512百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	39.44	
30年3月期第3四半期	21.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	26,975	7,048	26.1
30年3月期	21,690	6,815	31.4

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 7,048百万円 30年3月期 6,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		5.00	5.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	131,000	0.7	340	4.7	470	4.9	510	39.5
								37.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	13,774,819 株	30年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	49,899 株	30年3月期	49,870 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	13,724,929 株	30年3月期3Q	13,725,153 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外政治の先行きに対する懸念や自然災害の影響などがあつたものの、設備投資は堅調に推移したほか、企業収益や雇用情勢は改善傾向が続き、緩やかながら回復基調となりました。

当水産流通業界におきましては、国際的な水産物需要の増加等に伴い仕入価格が上昇しているほか、天候不順や温暖な天気が続いた影響等により、漁獲量の減少や消費者の購買意欲が低下するなど荷動きが低調に推移する厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が993億96百万円（前年同期比5億48百万円減）となり、利益面では営業利益3億45百万円（前年同期比17百万円増）、経常利益4億35百万円（前年同期比7百万円増）となりました。また、固定資産売却益1億81百万円を計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は5億41百万円（前年同期比2億46百万円増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、売上高については国外への販売が堅調に推移した一方、天候不順や自然災害等による不安定な漁獲状況や輸入品・養殖物の価格の高止まりなどの影響を受け国内での販売が伸び悩んだこと等により992億45百万円（前年同期比5億59百万円減）となり、利益面では粗利率が改善したこと等により営業利益は4億71百万円（前年同期比10百万円増）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高については1億99百万円（前年同期比9百万円増）となり、利益面では販売費及び一般管理費が減少したこと等により営業利益は11百万円（前年同期比8百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて52億85百万円増加し、269億75百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が55億92百万円、商品及び製品が7億61百万円増加した一方、土地が4億39百万円、現金及び預金が4億8百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて50億53百万円増加し、199億27百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が35億7百万円、短期借入金が17億79百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億32百万円増加し、70億48百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を5億41百万円計上した一方、その他有価証券評価差額金が2億25百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、平成30年8月21日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,437	2,029
受取手形及び売掛金	9,598	15,190
商品及び製品	3,309	4,071
短期貸付金	300	300
未収消費税等	40	69
その他	126	278
貸倒引当金	△21	△35
流動資産合計	15,791	21,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761	747
土地	2,162	1,723
その他(純額)	84	126
有形固定資産合計	3,008	2,596
無形固定資産		
	170	60
投資その他の資産		
投資有価証券	2,589	2,256
長期貸付金	280	285
破産更生債権等	677	658
固定化営業債権	829	821
繰延税金資産	15	11
その他	84	117
貸倒引当金	△1,756	△1,734
投資その他の資産合計	2,720	2,416
固定資産合計	5,898	5,072
資産合計	21,690	26,975

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	11,789
短期借入金	2,100	3,880
1年内返済予定の長期借入金	166	166
1年内償還予定の社債	500	500
未払金	407	537
未払法人税等	54	11
賞与引当金	143	41
その他	280	288
流動負債合計	11,934	17,214
固定負債		
長期借入金	166	83
繰延税金負債	308	237
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	193	190
退職給付に係る負債	1,671	1,591
その他	348	358
固定負債合計	2,939	2,713
負債合計	14,874	19,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	2,721	3,194
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,551	6,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,018	792
繰延ヘッジ損益	14	△0
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	13	13
その他の包括利益累計額合計	1,264	1,024
純資産合計	6,815	7,048
負債純資産合計	21,690	26,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	99,944	99,396
売上原価	94,650	94,079
売上総利益	5,293	5,316
販売費及び一般管理費	4,966	4,971
営業利益	327	345
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	49	52
受取賃貸料	108	102
その他	27	17
営業外収益合計	190	177
営業外費用		
支払利息	15	15
賃貸費用	54	58
その他	19	13
営業外費用合計	90	87
経常利益	427	435
特別利益		
固定資産売却益	1	181
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	1	183
特別損失		
固定資産除却損	—	6
減損損失	13	1
特別損失合計	13	8
税金等調整前四半期純利益	415	610
法人税、住民税及び事業税	68	36
法人税等調整額	52	32
法人税等合計	120	69
四半期純利益	294	541
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	294	541

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	294	541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	△225
繰延ヘッジ損益	△14	△14
退職給付に係る調整額	4	△0
その他の包括利益合計	218	△240
四半期包括利益	512	301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512	301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	99,804	140	99,944	—	99,944
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	50	50	△50	—
計	99,804	190	99,994	△50	99,944
セグメント利益	461	3	464	△136	327

(注) 1. セグメント利益の調整額△136百万円のうち、△126百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△9百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、13百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	99,245	150	99,396	—	99,396
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	49	49	△49	—
計	99,245	199	99,445	△49	99,396
セグメント利益	471	11	483	△138	345

(注) 1. セグメント利益の調整額△138百万円のうち、△130百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△7百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、1百万円の減損損失を計上しております。